慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和四十三年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1968
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.7 (1968.) ,p.437- 440
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000007-0437

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫 昭和四十三年度彙報

人事

昭和四十三年九月末日を以て、文庫長佐藤信彦君の任期が満了したので、後任に本文庫委員・文学部教授森武之助君が選任された。

文庫委員故奥野信太郎君の後任として、文学部教授村松暎君が十月より委員に委嘱された。文庫委員松本信広・今宮新両君は昭和四十四年三月末日の定年退職にともない委員を退かれた。

係員左近士秀子君は十二月末日を以て、家事の都合により退職。

文庫委員会

九月十一日正午より、図書館記念室に於て開き、文庫長より、昭和四十二年度文庫事業概要、四十二年度収支結算、四十二年度文庫予算を報告し、ついで文庫長改選、文庫委員の委嘱等について審議決定した。

研究調査

前年度に引き続き左の研究題目を中心として、調査研究と副本作成を進めた。

(1)我が国古典に関する室町以前成立の注釈書並に室町物語類

（担当者　松本隆信・平沢五郎）

(2)室町以前の日本漢学資料

Ⓐ邦人撰述漢詩文集類

Ⓑ邦人撰述漢籍注釈書類

Ⓒ日本現存漢籍古写本の綜合的研究

（担当者　阿部隆一・太田次男・尾崎康）

特に本年度に於ける各文庫員の研究調査題目は左の如し。

一、古文尚書・帝範・臣軌古写本の研究　阿部隆一

一、室町以前本邦伝存漢籍資料類の調査及複写　太田次男

一、室町以前に於ける白氏文集受容についての研究　松本隆信

一、室町時代物語の研究

一、平家物語百二十句本の諸本に関する基礎的研究　平沢五郎

一、金葉和歌集諸本の研究

一、橘守部自筆稿本の研究　尾崎　康

一、六朝隋唐時代通史年代記帝系譜類の研究

一、本邦現存漢籍古写本の調査及複写　阿部隆一・尾崎康

一、「文館詞林」の輯佚本の編纂と解題

一、漢籍引用の多い鎌倉以前に成立せる国書に於ける引書索引並に証注

昨年度より開始された、文庫員全体の協同研究たる「室町以前成立の聖徳太子伝記類の総合的研究」については、昨年にひき続き文部省より昭和四十三年度総合研究費七十万円の補助を受けた。本研究については、毎週「聖徳太子伝暦」の輪読研究会を前年度より継続し、現存諸本を集成して校訂証注の編纂を進めつつある。また主として室町以前成立の聖徳太子伝記類、三経義疏及び十七条憲法の注釈書類について、全国に亙った調査とその複写撮影は、本年度を以てほぼ終了し、その成果を目下整理調査中である。

文庫員が右の研究題目に関聯して、本年度に於て公表せる研究成果左の如し。

阿部隆一　帝範臣軌源流考附校勘記（「斯道文庫論集」第七輯）

北条実時の修学の精神（「金沢文庫研究」十四巻六号）

金沢文庫旧蔵鎌倉鈔本「南華真経注疏考」（「かがみ」十三号）

太田次男　真福寺蔵新楽府注と鎌倉時代の文集受容について—付新楽府注翻印—（「斯道文庫論集」第七輯）

平安末写三教指帰敦光注について—解題と翻印—（「史学」四一巻一号）

大東急記念文庫蔵　秘蔵宝鑰鈔零本について（「かがみ」十三号）

白氏諷諭詩考—平安時代の受容をめぐって—（「藝文研究」二七号）

松本隆信　民間説話系の室町物語—鉢かづき・伊豆箱根の本地他—（「斯道文庫論集」第七輯）

大東急記念文庫蔵「しぐれ」の伝本五種（「かがみ」十二号）

平沢五郎　金葉和歌集二度本攷—所謂続群書類従初度本系に就いて—（「斯道文庫論集」第七輯）

尾崎康　通史の成立まで（「斯道文庫論集」第七輯）

調査出張

上記の研究課題に関する諸本の調査及び複写撮影のため、都内及び近傍の諸所に出張したが、主な地方出張をあげれば

四月三日—九日　高野山霊宝館・高野山大学図書館・奈良興福寺・大阪府立図書館・京都大覚寺・北野神社・藤井有隣館・京都博物館蔵本の漢籍古鈔本・聖徳太子関係文献及び摺経類の調査並複写　出張者　阿部隆一・尾崎康

四月三日—六日　奈良県吉野町龍門文庫・京都西本願寺・北野天満宮・京都大学附属図書館蔵聖徳太子関係文献の調査並複写　出張者太田次男・松本隆信・平沢五郎

五月十六・十七日　愛知県岡崎市満性寺・西尾市立図書館岩瀬文庫蔵聖徳太子関係文献の調査並複写　出張者阿部隆一・松本隆信

六月三日—七日　富山県八尾町聞名寺・永見市光久寺・福井県三国町瀧谷寺・越廼村法雲寺・石川県立図書館・金沢市立図書館蔵聖徳太子関係文献その他の調査並複写　出張者阿部隆一・松本隆信

八月五日—九日　奈良県三郷町岸部武

利氏蔵書の調査並複写　出張者　阿部隆一・山里石峯

八月廿二日―廿五日　豊橋市民文化会館・西尾市立図書館岩瀬文庫蔵本調査　出張者　阿部隆一

十一月廿八日―卅日　京都大学附属図書館・神田家・天理図書館・奈良国立博物館・東大寺図書館蔵聖徳太子関係文献の調査並複写　出張者太田次男・平沢五郎

二月十四日―廿二日　陽明文庫・四天王寺・奈良国立博物館蔵聖徳太子関係文献の調査並複写　出張者　阿部隆一

二月十七日―廿二日奈良国立博物館・東大寺図書館蔵聖徳太子関係文献の調査　出張者太田次男

三月二日―十五日香川大学図書館・高松市松平家披雲閣・今治市河野信一記念文化館・大洲市立図書館・佐川町高知県郷土文化会館青山文庫・高知県立図書館・金刀比羅宮・金刀比羅宮図書館所蔵本の調査並複写　出張者　森武之助・阿部隆一・松本隆信・井上善一

図　書

四十四年三月一日現在、その整理を完了し、登録せる本年度の図書増加数は、一、六六三冊、うち寄贈書は四十四冊、斯道文庫賛助員会寄附金による購入本は一、二二八冊。累計図書冊数は八万四千五百六十八冊、他に寄託図書二万八千冊、計十一万二千五百六十八冊。本年度の定期刊行物の増加数は五種である。本年度の主な寄贈者の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

天理図書館殿　京都大学人文科学研究所殿　宮内庁書陵部殿　大阪府立図書館殿　亀山圭三殿　塩山豊蔵殿

昭和四十三年度文部省私立大学研究設備購入助成金により、次の漢籍十二部一五一冊を購入した。

周易参同契通真義　清内府鈔本（四庫全書文瀾閣原本）一冊

華亭百詠　鮑氏知不足斎鈔本（乾隆四庫全書採進原本）一冊

永楽大典巻八九四零葉　明内府鈔本一葉

大清実録　清内府鈔本（大清実録原本）二冊

通鑑紀事本末巻三一　宋刊　一冊

朱文公校昌黎先生文集四〇巻（巻三欠）元至元七年刊　十一冊

皇朝名臣言行続録　元刊　一冊

論語集解十巻　室町鈔本　五冊

新箋決科古今源流至論　元末明初刊　廿冊

事言要玄集　明万暦四六年序刊　四十冊

古逸叢書（黎庶昌・楊守敬・森立之等書入初印特装本）六五冊

分門纂類唐宋時賢千家詩選　宋末元初刊　三冊

斯道文庫賛助員会寄附金による購入本の主なるものは

論語仮名抄　室町鈔本　五冊

性霊集聞書　室町鈔本　九冊

論語集解零巻　鎌倉鈔本　一巻

龍龕手鑑　古活字本　七冊

作文大体　天文四年写　一冊
三教指帰私　天正十二三年写　二冊
三教指帰文筆解知鈔巻中　室町写
一冊

その他百部叢書集成等である。

文献複写

マイクロフイルムによる副本作製は、公私の文庫所蔵本について行ない、その全巻を撮影せる現蔵量は三月三十一日現在整理登録を完了せるもの、本年度増加数は、百呎ネガフイルム四〇リール、ポジフイルム五リール、累計百呎ネガフイルム四五八リール・同ポジフイルム三八四リールに達した。

この撮影は本文庫の研究事業計画に賛意を表され、貴重なる御所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の厚意によるもので、その主な芳名を録して、感謝の意を表する。

高野山霊宝館殿　高野山大学図書館殿　興福寺殿　北野神社殿　藤井有隣館殿　京都博物館殿　西本願寺殿　満性寺殿　西尾市立図書館岩瀬文庫殿　聞名寺殿　光久寺殿　瀧谷寺殿　法雲寺殿　石川県立図書館殿　金沢市立図書館殿　岸部武利殿　豊橋市立文化会館殿　徳島本願寺殿　神田喜一郎殿　天理図書館殿　東大寺図書館殿　陽明文庫殿　四天王寺殿　香川大学図書館殿　松平公益会殿　今治市河野信一記念文化館殿　大洲市立図書館殿　佐川町高知県郷土文化会館青山文庫殿　高知県立図書館殿　金刀羅宮殿　梅沢記念館殿

刊行事業

一、斯道文庫論集　第七輯
　A5判　四四〇頁

一、影弘仁本文館詞林　阿部隆一編　一冊　B5判六〇三頁　東京　古典研究会刊　定価六千円
　阿部隆一・尾崎康両君の共同研究たる「文館詞林の輯集並に調査」が完成し、国宝高野山等蔵弘仁鈔本を基本として、弘仁原鈔本の喪われた巻は弘仁本を模写せる本文庫蔵本その他を以て補い、現存巻の全てを網羅し、新出資料と併せて、厳密な書誌学的批判を加え、原形に復元輯集して、影印に付し、阿部の解題「文館詞林考」、尾崎の「文館詞林目録証注」を附し、「古典研究会叢書」として同会より刊行された。

斯道文庫賛助員会

本年度は都合により、賛助員会運営委員会を開催せず、文書を以て、文庫の年次報告、予算収支決算の報告を行った。

現賛助員会の大部分の方々が昭和四十三年度末を以て会員期間が満了することになり、過去五ケ年間の本文庫事業への並々ならぬ御援助については謹んで感謝の意を表する次第である。

また、第二次の会員募集を今年度より始め、現会員の更新継続、新規加入について、大方の御高配を仰ぐ次第である。